



碧南ロータリークラブ週報

第2375回例会 平成19年9月5日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 (SAA) 新美 宗和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

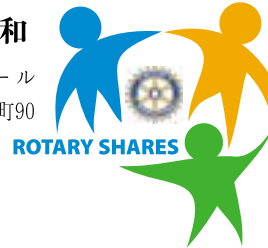
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは
分かち合いの心**

● 斉 唱

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテストの唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

安城ロータリークラブ 沓名令亨君



鈴木敏弘会長

会 長 挨拶

9月に入り朝・夕とめっきり過ごしやすくなって参りましたがまだまだ昼間は暑いと思います。十分お気を付けご活躍されますようご祈念申し上げます。さて、8月24日(金)平成19年度第1回碧南市共同募金委員会運営委員会が開催され出席させて頂きました。商工会議所会頭であり当クラブ会員の黒田昌司さんが会長として委員会を運営されております。歳末たすけあい募金の実施計画と本年度目標額又歳末たすけあい慰問金配分計画等々、案が決議されました。因みに碧南市に於いて昨年実績は1,257万円程で県全体では10億5,235万円程だそうです。このお金が①地域福祉推進の為に②おとしよりの為に③障害のある方の為に④子供達の為に⑤歳末たすけあいに⑥共同募金運動推進の為に⑦県全域の福祉施設の整備や団体の事業に使われています。当クラブは毎年7万円拠出しておりますが募金活動時期の10月1日~12月31日の間に理事会の承認の元に拠出を考えております。さて、9月3日会員の長田徳雄さんの尊父であり長田和徳さんが孫にあたる日進工業株式会社グループの相談役長田勝実様の社葬が営まれ映像による故人の思い出を偲びしめやかにとり行われました。故人のご冥福を申し上げますとともに、心よりお悔やみ申し上げます。また、当クラブの多くの会員の皆様にもお参りを頂き有難うございました。

今月は「新世代のための月間」であります。日頃から青少年の健全な育成にご尽力頂いております「碧南市スポーツ少年団」と「碧南市スカウト育成連絡協議会」様に後ほど助成金をお渡ししたいと存じます。最近の子供は“キレル”と言われています。親の問題の事もあります辛抱できない為にキレちゃうのではないかと思います。スポーツを通しての活動、しっかりした組織での活動、そうした中で忍耐教育を是非未来ある子供に教えて頂きますようお願い申し上げます。本日の挨拶とします。

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- ・本日例会終了後201号室にて理事会を開催いたします。



石橋嘉彦幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80 名（内出席免除者 12 名）出席者 56 名	
出席対象者 56/68名	出席率 82.35%
欠席者17名(病欠者0名)	前々回修正出席率 95.59%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 長田 徳雄君 当社創業者の社葬に際しましてはご多忙中にも拘わらずご会葬下され誠に有り難く厚く御礼申し上げます。
- 鈴木 並生君 過日、青木さん、棚田さんに無理にゴルフにお付き合いいただき、最高の景色のゴルフ場でプレー出来ました。有り難うございました。
- 奥谷 弘和君 ボーイスカウト、ガールスカウトに助成を頂き、ありがとうございます。
- 青木 稔君 杳名令亨さんのご来訪を大歓迎申し上げます。
- 平岩統一郎君 榊原健君の初孫誕生おめでとうございます。
- 石川 春久君 由仁ロータリークラブ会員竹田町長さんに大変お世話になりました。
鈴木会長さんの高価な素晴らしいゴルフクラブをお借りし、楽しいプレーをする事が出来ました。スコアは聞かないで下さい。ありがとうございました。
- 長田 豊治君 同級生榊原健君の初孫の誕生をお祝い申し上げます。
- 新美 宗和君 9月1日（土）碧南青年会議所の中間OB総会がありまして、無事次年度の会長を決定する事が出来ました。木村徳雄君よろしく願います。
- 木村 徳雄君 ゴルフでいい事がありました。新美宗和さんありがとう。
- 伊藤 正幸君 先週ケアンズ、シドニー、ゴールドコーストとはじめてオーストラリアへ行ってきました。
- 杉浦 昌裕君 良い事がありました。
- 清澤 聡之君 碧南市スカウト育成連絡協議会に助成金有り難うございます。
- 竹中 誠君 矢作古川にて、楽しい事が有りました。
- 山中 寛紀君 本日新世代月間での贈呈式スポーツ少年団石川様とスカウト育成連絡協議会の小島様にはお運び頂き有り難うございます。
- 榊原 健君 孫が生まれました。女の子です。可愛いものです。元気に育ってくれたらと思います。
- 近藤 孝三君 8/24～8/31にかけ女房とイタリアへ行って来ました。

〈親睦委員会〉

会員誕生日

9月12日 長田豊治君 13日 岡本明弘君 23日 近藤孝三君

奥様誕生日

15日 長田和徳君の奥様 真由美様 16日 矢埜 隆君の奥様 トシミ様
19日 神谷 研君の奥様 文子様 21日 竹中 誠君の奥様 みのもり様

24日 長田徳雄君の奥様 利子様 25日 石川唯司君の奥様 紀代子様

26日 森田雅也君の奥様 千恵子様

結婚記念日

23日 石橋 嘉彦君・里美様 25年（銀婚） 24日 黒田 昌司君・みゑ子様 28年

26日 山中 寛紀君・恭子様 25年（銀婚） 30日 鶴田 光久君・美奈子様 29年

クラブフォーラム

「青少年活動の助成金贈呈」

碧南市スポーツ少年団 本部長 石川宇一氏



ロータリークラブの皆様には長い間のご支援ご理解を頂きまして誠にありがとうございます。本日は近況ということで、最近の各競技団体の成績を報告させていただきます。まず、碧南市スポーツ少年団と致しましては7種類の団体があります。少年野球が6チーム、サッカー少年団が7チーム、剣道が2クラブ、空手が9グループ、新体操が3グループ、卓球、ソフトテニスが1グループ、合計29の団体で子供の数1,270名の会員となっております。指導者は300名超おります。その中で、まず少年野球ですが、棚尾小学校区の碧南ライナーズというチームが7月の碧南市長杯という西三河の大会でみごと優勝致しました。8月には県下の中日少年野球大会において優勝し東海大会に進むという成績を残しております。サッカーにおいては8月に行われました碧南市サマーカップ2007大会におきまして、県下で16チームが参加され、新川サッカー少年団が見事3位に入りました。皆様の指導によって徐々にレベルが上がってきたと感じております。空手においては年に3回ほど碧南広報に紹介されますが、この9月1日号にも載っていましたが全国大会に出場する中学生が紹介され、その他小学生も毎年体協で表彰しておりますが空手道の選手の表彰が一番多くあります。殆ど全国大会に出て優勝、準優勝といった成績を残しております。卓球では桜卓球道場の小学生の子供たちが毎年全国大会に出るような成績を残しております。現在碧南市内ではラージボールを始め卓球の普及が盛んで、そのおかげかとも思っております。剣道に関しましてはこれからどんどん伸びていくグループだと感じております。毎年豊田市の小原地区の子供たちと交流をし技術の向上に励んでおります。新体操は幼稚園小学生が主体ですが毎年2回碧南市臨海体育館で発表会、協議会等を行っております。8月にリトルプリンセスの子供が一人、全国大会へ出場すると聞いております。こうした事が先の国体やオリンピック選手の養成に繋がって行くのではないかと期待しております。最後にソフトテニスですがまだ結成して5～6年というところですがここのところ2年続けて県下の大会でベスト8まで進んでおります。私ども指導者の立場としてもうれしく思っておりますが、それぞれのチーム、クラブが数年前と比べ相当技術レベルが上がってきたと感じております。子供の技術に関して指導者の方にお任せしておりますが、我々本部と事務局の方と致しましては指導者の教育レベルアップを図るため色々な試みをしております。今年は8月に指導者講習会として、今年は特に暑い日が続いておりましたので全国で熱中症で病院に運ばれた方が3,000人を超すといった情報があります。そうした中で大塚製薬にお願いしてスポーツ中の水分補給をどうしたら良いかという事で熱中症予防の講演をして頂きました。その後、生田整形外科の先生にスポーツ中の捻挫、骨折という怪我に対する処置法の講演をして頂き、活発な質疑意見交換を行い有意義な指導者講習会を行う事が出来ました。その他いろいろなレベルアップの機会を設けて資格を取りながら、子供を預かる以上、親御さんが安心して任せられるような指導者になって頂きたいと思っております。辛抱強い子供を育てるという事で試合に負けても次の試合で勝とう、頑張ろうという意気込みの出るような反省と次にその反省を活かせるような子供に育て、大人になっても続けていけるよう

に楽しい指導方法をとってまいりたいと思いますし、安心安全の指導体制を整えてルールを守り辛抱強い我慢のできる健全な子供に育てたいと思い、これからも頑張ってまいります。今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

碧南市スカウト育成連絡協議会

ボーイスカウト碧南1団ボーイ隊 隊長 小島壮持氏

碧南のスカウトは幼稚園から大学生まであります。幼稚園がビーバー隊、小学生がカブスカウト、中学生がボーイスカウト、高校生がベンチャースカウト、大学生がローバースカウトと進級していく組織になっております。碧南では1団、2団。大浜地区と新川地区に10年前に分かれました。一人のリーダーが見られる人数は24~25



名だろうという事で2つに分けました。碧南は178名のスカウトを擁しております。碧海5市でも大人数を抱える団に成長して参りました。これも皆様方のおかげと喜んでおります。

先ほどの話の中にもありましたが最近の子供は「よくキレル」といいますが、キャンプに連れて行くと先ず言う言葉は「何時に終わるの」が第1声です。そして「めんどくさい」とか、「暑い」とか言う子が増えております。我々も中学生を担当しておりますけれども、リーダーの方がキレないように我慢強く指導しております。最近特に中学生の服装の乱れが目立ってまいりました。ズボンから上着を出すのが流行かもしれませんが、ボーイスカウトはそのようなことはありません。子供の親から、もう少し服装を何とかならないのかといわれますが活動中は上着をズボンの中に入れて隊集会が終わった瞬間にすぐ上着を外に出すというファッションになっておりますので我々リーダーはどのように対処すればいいのかと頭を悩ませている問題です。ごはんを炊くのも必ず水から入れなさいという事から教えていかなければなりません。親もごはんが炊けません。七輪で炭をおこしてもおこせないというのが現状です。学校でもサマースクールで火の起こし方、カレーライス作り方などを頼まれて教えに行く事が多くなりましたが我々がすべき事ではないと思います、ぜひ家庭の中でご飯の炊き方ぐらいは教えてあげて頂きたいと思いません。過去にキャンプに行った時、ご飯を作らずサンドイッチを配ったところ松の根元に捨ててありました。世の中には食事が食べられないとかアジア圏には多くみられます。ぜひモノを粗末にしないという事も幼いうちから家庭内で教えて頂きたいと思いません。おぎゃあと産まれて10歳になりますと、あの子が嫌いあの子が好き、これはまずい、捨てようかと段々人間の悪いところがみえてまいります。そのまま大人になったら、さぞ末恐ろしいと考えます。ボーイスカウトは何を残すべきかと考えたとき、やはり良い人材を残そうというのがテーマではないのかと思いません。物で残すのではなくて良い子供、人材を残して後に続けていこうとリーダー全員ががんばっておりますのでよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

次回例会案内 平成19年9月19日(水)

「新世代の健全育成を願って」

パストガバナー 松本 宏氏